

平成28年4月開設予定

高知大学人文社会科学部 キックオフ・シンポジウム

高知から考える人文社会科学の可能性

来春、高知大学人文学部は、「人文社会科学部」へと生まれ変わります。他にも、高知県内の大学では人文社会科学系学部の新設やリニューアルが相次いで進んでおり、人文社会科学の教育・研究がますます厚みを帯びてきています。そこで、本シンポジウムでは、各大学・学部が一体どのような改革を進め、これからどのような形で教育・研究の充実を図ろうとしているのかを披露いたします。

また、基調講演では、大学問題について精力的な発言をなさっている日比嘉高氏（名古屋大学）をお招きし、急速に進む大学改革に対する冷静な情勢分析ならびに人文社会科学の教育・研究の可能性について、お話いただきます。

来場者のみなさんには、高知県内の人文社会科学系学部に対するご理解を一層深めていただくとともに、これらの学部が担うべき教育・研究をめぐる活発な議論にぜひ参加いただければ幸いです。

2015年 11月8日(日)

13時00分～16時30分
12時30分(開場)

入場無料

会場 高新RKCホール

高知市本町3丁目2-15 6F TEL.088-825-4321



■近隣の有料駐車場か公共交通機関をご利用ください。
■公園通り側のホール用ロビーより、専用エレベーターをご利用ください。

主催/国立大学法人 高知大学

後援/高知県、高知市、高知県教育委員会、高知市教育委員会、高知県高等学校長協会、NHK高知放送局、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、高知新聞・RKC高知放送、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、産経新聞社高知支局、日本経済新聞社高知支局、読売新聞高知支局、共同通信社高知支局、高知ケーブルテレビ、エフエム高知、高知工科大学、高知県立大学、高知短期大学、高知学園短期大学、高知工業高等専門学校(順不同)

第1部

いま、人文社会科学系学部がなす教育とは？

- 13:00 開会の挨拶 高知大学人文学部長 吉尾 寛
- 13:05 基調講演
「踏みとどまること、つなぐこと——
人文社会科学の意義と可能性」
名古屋大学大学院文学研究科准教授 日比 嘉高氏
- 13:55 「高知大学人文社会科学部が目指す教育」
高知大学人文学部長 吉尾 寛
- 14:15 「明治大学商学部発『ダブルコア』という
教育のしくみ」
明治大学商学部長 出見世 信之氏
- 14:30 休憩

第2部

高知県に立地する人文社会科学系学部の
教育・研究の方向性

- 14:40 「高知県内の人文社会科学系学部が考える教育」
高知県立大学文化学部長 岩倉 秀樹氏
高知工科大学経済・マネジメント学群長 伴 金美氏
高知大学地域協働学部副学部長 玉里 恵美子
- 15:10 「人文社会科学系学部への期待」
ひまわり乳業株式会社代表取締役社長 吉澤 文治郎氏
土佐山内家宝物資料館館長 渡部 淳氏
- 15:30 パネルディスカッション
モデレーター:高知大学人文学部副学部長 中川 香代
- 16:25 閉会挨拶 高知大学学長 脇口 宏
- 16:30 閉会

※会場にて高知大学人文社会科学部の入試相談を受け付けます。

第1部 いま、人文社会科学系学部がなす教育とは？



名古屋大学大学院
文学研究科准教授
ひび よしたか
日比 嘉高氏

基調講演 「踏みとどまること、つなぐこと— 人文社会科学の意義と可能性」

文部科学省は、今年6月、人文社会科学系学部の組織の廃止や社会的要請の高い分野への転換を要請する通知を出し、大きな波紋を呼んでいます。では、人文社会科学系学部の教育には、一体どのような意義があるのでしょうか。また、今後どのような改革を目指していくべきなのでしょう。『いま、大学で何が起きているのか』（ひつじ書房、2015年）をはじめ、新聞や雑誌などで大学教育について活発に発言されている名古屋大学大学院文学研究科准教授の日比嘉高氏をお招きして、冷静な情勢分析と人文社会科学系の研究に基づく教育のゆくえについて、お話いただきます。



『いま、大学で何が起きているのか』
(ひつじ書房 2015年)

「大学改革」で現在何が進行しているのか、資料やニュース等を用いて概観し、論点を示す問題提起の書。語学教育や、大学の教室と政治の関係、生涯教育などについても論じる。



高知大学
人文学部長
よしお ひろし
吉尾 寛

「高知大学人文社会科学部が 目指す教育」

グローバル化の進展や地域社会の疲弊をはじめ、近年の社会はこれまでにない大きな変動に直面しています。このような時代状況の中で、総合的・専門的知識を持つだけでなく、従来の枠組みを越えた柔軟な発想力をも兼ね備えた人材養成が強く求められてきています。高知大学人文学部長の

吉尾寛より、来春に控えた高知大学人文社会科学部への組織改編の狙いを紹介するとともに、社会の要請を踏まえた次世代の担い手育成の方向性について、お話しします。



明治大学
商学部長
のみせ のぶゆき
出見世 信之氏

「明治大学商学部発「ダブルコア」 という教育のしくみ」

高知大学人文社会科学部では、従来の3学科体制から1学科3コース体制へ変わるとともに、15種類の「プログラム」の提供を通して専門性を深める取り組みを開始します。また、1つの「プログラム」のみを履修する「シングルコア」だけでなく、複数のプログラムを横断的に履修できる「ダブルコア」「マルチコア」という新たな仕組みも構築し、意欲的な学生の期待に応えようとしています。実は、このしくみは、明治大学商学部の取り組みに大きな影響を受けています。そこで、同学部長の出見世信之氏より、明治大学の教育実践とその効果についてご紹介いただきます。

第2部 高知県に立地する人文社会科学系学部の教育・研究の方向性

今年4月、高知県では、高知大学地域協働学部の新設と、高知県立大学文化学部ならびに高知工科大学経済・マネジメント学群の組織改編がありました。これにより、高知県で展開される人文社会科学分野の教育には幅が広がり、深みも増すようになりました。第2部では、「高知県内の人文社会科学系学部が考える教育」と題して、高知県内の人文社会科学系学部の各学部長にご登壇いただき、教育・研究の取り組みや方向性についてご説明いただきます。

また、高知県の経済界や文化関係者の中から、ひまわり乳業株式会社代表取締役社長・土佐経済同友会代表幹事の吉澤文治郎氏ならびに土佐山内家宝物資料館館長の渡部淳氏をお招きして、「人文社会科学系学部への期待」をテーマにコメントを頂戴いたします。

これらを踏まえて、人文社会科学系学部が担うべき教育・研究の方向性について、登壇者全員で活発な議論を行い、高知県の人文社会科学系学部に対する理解を一層深めていく予定です。



高知県立大学
文化学部長
いわくら ひでき
岩倉 秀樹氏



高知工科大学
経済・マネジメント学群長
ともた けんじ
伴 金美氏



高知大学
地域協働学部副学部長
たまき えみこ
玉里 恵美子



ひまわり乳業株式会社
代表取締役社長
よしざわ ふみひろ
吉澤 文治郎氏



土佐山内家
宝物資料館館長
わたべ じゅん
渡部 淳氏



モデレーター
高知大学
人文学部副学部長
なかがわ かと
中川 香代

高知大学人文社会科学部 2016年(平成28年)度組織改編

問い合わせ先 高知大学人文事務局 〒780-8520 高知市曙町二丁目5-1 Tel.088-844-8172 Fax.088-844-8354
E-mail:gg01@kochi-u.ac.jp Webサイト/http://jinbun.cc.kochi-u.ac.jp/

資料準備のため人文社会科学部 Webサイトから参加申し込みをお願いします。※当日参加可。